

### 家庭ごみの分け方・出し方

10月に平戸市内全世帯に「家庭ごみの分け方・出し方」のチラシを配布しました。ごみの分別方法は、平戸市公式LINEからも確認できますので、ご確認ください。



平戸市公式LINEはこちら▼

今回は、問い合わせが多いケースについてお知らせします。

#### もえるごみ

Q 木類やホースの出し方は？  
A 長さを30センチメートル以内に切ってください。

#### 飲料用の缶

Q 缶はつぶして出してよいか？  
また、缶の中にごみを入れてよいか？  
A 缶の中をすすいで、つぶさずに出してください。また、缶の中にごみは入れないでください。

#### びん類

Q びんを出せる袋は？  
A びんは資源ごみ袋の小か中で出してください。

#### 危険物

Q カセットコンロ用ボンベやスプレー缶の出し方は？  
A 使い切り、穴をあけて出してください。

#### 危険物

Q リチウムイオンなど蓄電池はどうしたらよいか？  
A 蓄電池を出す際は端子などに絶縁テープを貼り、小袋に入れるなど他の危険物とは分けてください。



問 市民課生活環境班 ☎22-9121

# 一地域でいきいきー通いの場 VOL.102

平戸市内各地域で、週に1回以上、「平戸よかよか体操」や趣味活動を行う住民主体の通いの場を紹介します。

☎ 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎22-9133

## 「毎週の集まりを楽しみに」

令和7年4月に活動を始めた、「下中野れんげ会」。団体設立から半年が経過しましたが、体力向上や体調の変化を実感しながら活動を続けています。



下中野れんげ会 代表/阿立 ミチ子さん

活動日/毎週金曜日 午前10時～

活動場所/下中野公会堂

開催地区/下中野町

特徴/週1回の集まりで体操と交流が交わり、地域の輪が広がっています。参加者が花を持参し会場を彩り、笑顔が咲く場所になっています。



「平戸よかよか体操」CD・DVDを無償貸し出し中です！また、平戸市ホームページでも動画を公開しています！

## 1月のオレンジカフェ日程表

※参加料がかかる場合があります。

平戸市内各地域でオレンジカフェを開設しています。内容は、脳トレ、認知症予防講話、情報交換、茶話会、専門職相談など、事業所ごとに異なります。参加する際は、下表の連絡先に事前にご連絡ください。

名称	とき	ところ	連絡先
認知症予防カフェ「とかじん」	1月25日(日) 10:00～12:00	デイサービスセンターとかじん(岩の上町)	デイサービスセンターとかじん(☎23-3388)
介護予防カフェ「毎快Deカフェ」	1月10日(土) 9:00～11:00	木引田介護スクエア内(木引田町)	リハビリ特化型通所介護毎快(☎22-7154)
介護予防カフェ「よろうで喫茶」	1月20日(火) 10:15～12:00	平戸市社会福祉センター(岩の上町)	平戸市社会福祉協議会(☎22-2180)
介護予防カフェ「えつなん」	1月11日(日) 10:00～11:30	平戸荘デイサービスセンター(紐差町)	代表 濱田(☎090-3850-8153)
介護予防カフェ「なんぶカフェ」	1月29日(木) 10:00～12:00	多目的研修センター(辻町)	平戸市社会福祉協議会(☎22-2180)
認カフェ「いなほ」	連絡先へお尋ねください。	和く話く交流館(生月町)	いなほグループ(☎53-3012)
介護予防カフェ「ゆ〜らり」	1月21日(水) 10:30～12:00	生月高齢者生活福祉センター(生月町)	平戸市社会福祉協議会生月支所(☎53-2615)
介護予防カフェ「ふれあいカフェ」	1月14日(水) 14:00～16:00	大島高齢者生活福祉センター(大島村)	平戸市社会福祉協議会大島支所(☎55-2100)
介護予防カフェ「ニコニコ」	1月8日(木) 13:30～15:00	平戸市福祉保健センター(田平町)	平戸市社会福祉協議会田平支所(☎57-2223)
介護予防「ふれあいカフェ」	1月21日(水) 10:00～11:30	東地区交流センター(田平町)	田平まちづくり協議会(☎29-9008)

## 我在平戸

### 「蓋碗」でお茶を飲む

先日、国際交流員研修で東京に出張した際、中国菓膳食をテーマにしたレストランで、素敵なお茶を手にしました。思いがけない出会いで、とても嬉しくなりました。

日本に茶道があり、茶碗や道具がおもてなしの心を表すように、中国にも地域ごとに異なる茶文化があります。茶具は、その土地の暮らしや文化を映す大切な存在です。平戸の友好都市・南安市がある福建省は、世界的に有名なウーロン茶の産地です。福建や広東あたりで盛んなのは「工夫茶」で、小さな急須や聞香杯、飲杯を使い、短い時間で何度もいれ、香りの変化を楽しむ飲み方です。茶を



国際交流員  
張 芸  
(チョウ・ゲイ)  
(中国出身)

いれる「工夫」手間と心をかける「精神」が表れ、日常の中にあるおもてなしが感じられます。

今回出会った「蓋碗」は、四川を起源とし、中国西南部で広く親しまれてきました。蓋・碗・受皿の三つで構成され、「天・地・人の調和」を象徴します。気軽に一杯をいれて楽しめるのが特徴です。お茶の葉がひらく様子を見ながら、蓋を少し傾けてそのまま口に運べる、家庭でも茶館でもよく使われる気さくな茶具です。



▲購入した蓋碗

問 文化交流課交流推進班 ☎22-9143